

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成28年11月7日
【四半期会計期間】	第53期第2四半期（自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日）
【会社名】	ワタベウェディング株式会社
【英訳名】	WATABE WEDDING CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役 社長執行役員 花房 伸晃
【本店の所在の場所】	京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地
【電話番号】	075(778)4111(代表)
【事務連絡者氏名】	グループ管理本部長 平木 親臣
【最寄りの連絡場所】	京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地
【電話番号】	075(778)4111(代表)
【事務連絡者氏名】	グループ管理本部長 平木 親臣
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第52期 第2四半期連結 累計期間	第53期 第2四半期連結 累計期間	第52期
会計期間	自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
売上高 (百万円)	20,806	20,677	43,882
経常利益又は経常損失 () (百万円)	891	704	208
親会社株主に帰属する四半期 純損失 () 又は親会社株主 に帰属する当期純利益 (百万円)	1,104	611	46
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,240	1,159	620
純資産額 (百万円)	9,722	9,147	10,342
総資産額 (百万円)	19,436	18,812	20,811
1株当たり四半期純損失金額 () 又は1株当たり当期純 利益金額 (円)	111.47	61.73	4.74
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	49.7	48.3	49.5
営業活動によるキャッシュ・ フロー (百万円)	278	487	1,679
投資活動によるキャッシュ・ フロー (百万円)	289	762	380
財務活動によるキャッシュ・ フロー (百万円)	374	515	356
現金及び現金同等物の四半期 末(期末)残高 (百万円)	4,108	4,192	5,307

回次	第52期 第2四半期連結 会計期間	第53期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成27年7月1日 至平成27年9月30日	自平成28年7月1日 至平成28年9月30日
1株当たり四半期純損失金額 () (円)	108.64	62.96

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。第52期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における運営状況と経営成績について、「リゾート挙式」におきましては、8月1日を「リゾートウェディングの日」と制定し、その記念として「リゾ婚Cafe」を期間限定でオープンするなど、引き続きリゾート挙式を啓蒙し、マーケットの拡大を図ってまいりました。

平成28年8月には「京都四条店」をリニューアルし、挙式から衣裳までの一貫したサービスの提供ができることになったことで、より利便性の高い店舗として運営が可能となったほか、平成29年春には全面改装するプリンスワイキキの最上階に、ハワイで唯一のスカイビューチャペルとなる「ラニレアチャペル」のオープンを予定し受注を開始するなど、お客様により高い支持を得られるよう努めております。

しかしながら、競争の激化や景気の先行き不透明な状況であること等により、挙式取扱組数は減少する結果となりました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、主力である婚礼事業に加えて、一般宴会事業や宿泊事業の強化に取り組んでまいりました。

目黒雅叙園では、平成28年9月に「和」をコンセプトとした客室のフロアリノベーションやブライダルサロンの改装等、積極的な投資活動を行いました。

メルパルクでは、「平成28年熊本地震」の影響等により前年同四半期比で挙式取扱組数は減少したものの、一般宴会や宿泊部門が好調に推移しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高20,677百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業損失247百万円（前年同四半期営業損失982百万円）、経常損失704百万円（同 経常損失891百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失611百万円（同 親会社株主に帰属する四半期純損失1,104百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

リゾート挙式

挙式取扱組数が減少したものの、1組当たり単価が増加したことにより、売上高は8,436百万円（前年同四半期比0.3%増）となり、利益面につきましては、挙式運営コストや販売管理費の削減を進めたものの、セグメント損失は184百万円（前年同四半期セグメント損失568百万円）となりました。

ホテル・国内挙式

挙式取扱組数が減少したことなどから、売上高は12,240百万円（前年同四半期比1.3%減）となり、利益面につきましては、原価や販売管理費の削減を進めたものの、セグメント損失は131百万円（前年同四半期セグメント損失404百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,589百万円減少し、7,739百万円となりました。これは主に借入金の返済により現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ408百万円減少し、11,073百万円となりました。これは主に建物及び構築物が減少したことによるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ1,998百万円減少し、18,812百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ872百万円減少し、7,503百万円となりました。これは主に借入金の減少によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ69百万円増加し、2,161百万円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ803百万円減少し、9,665百万円となりました。

純資産残高は前連結会計年度末に比べ1,194百万円減少し、9,147百万円となりました。これは為替換算調整勘定や繰延ヘッジ損益の減少等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが487百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが762百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが515百万円の支出となり、この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、4,192百万円（前年同四半期は4,108百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は487百万円（前年同四半期比75.1%増）となりました。これは、税金等調整前四半期純損失673百万円等があったものの、減価償却費677百万円、前受金の増加573百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は762百万円（前年同四半期比163.1%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得988百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は515百万円（前年同四半期比37.6%増）となりました。これは主に長期借入金の返済562百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,000,000
計	22,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成28年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成28年11月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,909,400	9,909,400	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	9,909,400	9,909,400	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成28年7月1日～ 平成28年9月30日	-	9,909,400	-	4,176	-	4,038

(6) 【大株主の状況】

平成28年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式 数の割合 (%)
株式会社千趣会	大阪市北区同心1丁目8番9号	2,575	25.99
株式会社寿泉	京都市北区上賀茂畔勝町61番地2	2,477	25.00
株式会社ディアーズ・ブレイン	東京都港区芝公園2丁目6-3	792	7.99
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY - PB (常任代理人 メリルリンチ日本証 券株式会社)	MERRILL LYNCH FINANCIAL CENTRE 2 KING EDWARD STREET LONDON EC 1A 1HQ (東京都中央区日本橋1丁目4-1)	748	7.54
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社	東京都中央区晴海1丁目8-11	385	3.89
ワタベウェディング従業員持株会	京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20	327	3.30
ワタベウェディング取引先持株会	京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20	254	2.56
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社	東京都港区浜松町2丁目11番3号	122	1.23
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL (常任代理人ゴールドマン・サック ス証券株式会社)	133 FLEET STREET LONDON EC 4A 2BB U.K. (東京都港区六本木6丁目10番1号)	80	0.81
マキロイ ロバート	東京都渋谷区	51	0.51
計	-	7,815	78.86

(注) 1. 上記信託銀行の持株数は、すべて信託業務に係るものであります。

2. マラソン・アセット・マネジメント・エルエルピーから、平成26年12月18日付で大量保有報告書の変更報告書の提出があり、平成26年12月15日現在で以下のとおり株式を所有している旨の報告を受けました。しかし、当社として当第2四半期会計期間末における実質所有株式数の確認ができないので、上記大株主の状況には含めておりません。

提出者(大量保有者)の氏名又は名称	所有株式数 (千株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
マラソン・アセット・マネジメント・エルエルピー	740	7.46
計	740	7.46

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成28年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,906,200	99,062	-
単元未満株式	普通株式 2,900	-	-
発行済株式総数	9,909,400	-	-
総株主の議決権	-	99,062	-

【自己株式等】

平成28年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ワタベウェディング株式会社	京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地	300	-	300	0.00
計	-	300	-	300	0.00

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,311	4,196
売掛金	1,636	1,583
商品及び製品	244	241
仕掛品	15	12
原材料及び貯蔵品	463	409
その他	1,691	1,326
貸倒引当金	33	30
流動資産合計	9,329	7,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,990	3,838
土地	2,023	1,918
その他(純額)	1,196	1,247
有形固定資産合計	7,210	7,005
無形固定資産		
573	573	538
投資その他の資産		
差入保証金	2,669	2,663
その他	1,031	869
貸倒引当金	3	3
投資その他の資産合計	3,697	3,529
固定資産合計	11,481	11,073
資産合計	20,811	18,812
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,433	1,274
短期借入金	933	525
前受金	2,208	2,736
賞与引当金	508	449
その他	3,292	2,518
流動負債合計	8,376	7,503
固定負債		
長期借入金	125	62
退職給付に係る負債	1,011	1,062
資産除去債務	586	572
その他	368	463
固定負債合計	2,091	2,161
負債合計	10,468	9,665

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,038
利益剰余金	2,504	1,843
自己株式	0	0
株主資本合計	10,718	10,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68	69
繰延ヘッジ損益	260	383
土地再評価差額金	903	903
為替換算調整勘定	655	228
退職給付に係る調整累計額	14	14
その他の包括利益累計額合計	425	976
非支配株主持分	49	66
純資産合計	10,342	9,147
負債純資産合計	20,811	18,812

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	20,806	20,677
売上原価	7,378	6,803
売上総利益	13,428	13,874
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	4,892	4,801
賞与引当金繰入額	307	390
退職給付費用	78	93
賃借料	2,593	2,494
その他	6,539	6,341
販売費及び一般管理費合計	14,410	14,121
営業損失()	982	247
営業外収益		
為替差益	43	-
その他	74	39
営業外収益合計	118	39
営業外費用		
為替差損	-	476
その他	26	20
営業外費用合計	26	496
経常損失()	891	704
特別利益		
固定資産売却益	-	48
関係会社株式売却益	-	60
その他	-	2
特別利益合計	-	111
特別損失		
固定資産除売却損	9	43
施設店舗整理損	1	34
その他	-	2
特別損失合計	10	80
税金等調整前四半期純損失()	901	673
法人税等	198	69
四半期純損失()	1,100	604
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	7
親会社株主に帰属する四半期純損失()	1,104	611

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失()	1,100	604
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	150	123
為替換算調整勘定	19	427
退職給付に係る調整額	9	0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	4
その他の包括利益合計	140	555
四半期包括利益	1,240	1,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,242	1,162
非支配株主に係る四半期包括利益	1	2

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	901	673
減価償却費	792	677
施設店舗整理損	1	34
関係会社株式売却損益(は益)	-	60
賞与引当金の増減額(は減少)	17	51
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	38	54
受取利息及び受取配当金	3	3
支払利息	3	1
為替差損益(は益)	7	301
売上債権の増減額(は増加)	108	45
たな卸資産の増減額(は増加)	20	9
仕入債務の増減額(は減少)	41	123
未払金の増減額(は減少)	86	186
前受金の増減額(は減少)	209	573
その他	24	311
小計	289	269
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	3	1
法人税等の支払額	123	283
法人税等の還付額	113	501
営業活動によるキャッシュ・フロー	278	487
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	-	16
有形固定資産の取得による支出	360	988
有形固定資産の売却による収入	1	270
無形固定資産の取得による支出	58	97
差入保証金の差入による支出	16	51
差入保証金の回収による収入	128	25
その他	15	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	289	762
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	90	100
長期借入金の返済による支出	262	562
非支配株主からの払込みによる収入	-	14
配当金の支払額	-	49
その他	21	17
財務活動によるキャッシュ・フロー	374	515
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	324
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	389	1,114
現金及び現金同等物の期首残高	4,497	5,307
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,108	4,192

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、新たに設立したW&D Products, LTD.を連結範囲に含めております。また、華徳培婚紗(上海)有限公司及び上海先衆西服有限公司については、華徳培婚礼用品(上海)有限公司との合併を解消したため、連結範囲に含めております。

さらに、第1四半期連結会計期間より、ハルビン モダン アターシュガーデン有限公司は、すべての株式を売却したため、連結の範囲から除いております。

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
現金及び預金勘定	4,113百万円	4,196百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	4	4
現金及び現金同等物	4,108	4,192

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	49	5	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	8,407	12,398	20,806	-	20,806
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,148	59	3,208	3,208	-
計	11,556	12,458	24,015	3,208	20,806
セグメント損失()	568	404	972	9	982

(注)1. セグメント損失()の調整額 9百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	8,436	12,240	20,677	-	20,677
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,153	71	3,224	3,224	-
計	11,589	12,311	23,901	3,224	20,677
セグメント損失()	184	131	316	69	247

(注)1. セグメント損失()の調整額69百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)
1 株当たり四半期純損失金額 ()	111円47銭	61円73銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失金額 () (百万円)	1,104	611
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四 半期純損失金額 () (百万円)	1,104	611
普通株式の期中平均株式数 (株)	9,909,074	9,909,074

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、1 株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年10月28日

ワタベウェディング株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山田 美樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩淵 貴史 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木戸脇 美紀 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているワタベウェディング株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ワタベウェディング株式会社及び連結子会社の平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。